

登山スタイルや、いわゆるアウトドアスタイルはめまぐるしく変わりつつあるが、これでもいいのかと思うことがある。

ネットで調べてみたら関西でもたくさんあったので、「グランピング」というのをご存じの方も多いと思う。右の囲みは、今年3月にスノーピークが白馬で3回実施した内容である。(募集は各回16名・参加費と合わせて一人1泊9万円)

「グランピング」とは、グラマラス/Glamorous (魅力的な) とキャンピング/Camping (キャンプ) を組み合わせた造語で、自分でキャンプ道具を持って行ったり、テントを張ったりすることなく、自然環境の中でホテル並みの豪華で快適なサービスが受けられる、新しいキャンプスタイルのことをいうらしい。お金ですべて段取りしてもらって、「これがキャンプといえるのか!」と言いたいものだ。似非アウトドアではないか。しかし、現実には増えつつある。金に余裕ある人は、自然の雰囲気だけ味わいたいのだろうか。

白馬村では、今度は、「地方創生」の名の下に「通年型マウンテンリゾートの実現に向けたグランピング等によるアクティビティ強化・魅力増進事業」として、今年度1億5500万円(5年間で9億5000万円)をかけて、「富裕層を中心とした観光来訪者数を増加させ、地域内の経済に好循環を生む状況を目指す」という。資金の大半は国からの補助で各場村と索道(リフト)会社2社で実施、そのためにスノーピークが核になって施設を建設するようだ。これで、どれくらいの村民が「白馬村創生」に繋がると思っているのだろうか。

日本人のスキー離れは加速の一方で、白馬のスキー場も、いまや外国人スキーヤー頼みといっても過言ではないくらいで、白馬村では、いま外国人がオーナーの宿泊施設建設ラッシュである。そして今日、さらに新しい情報=古民家を富裕層向けにリノベーションしてこの冬に間に合わせるといふ計画、1泊12~15万円という報道があった。

8月中旬までは、高い気温と好天が続いた。その関係で登山者も多く、今年の夏山遭難は県でも全国でも過去最多。8月下旬から天候不順とときどき低温の日もある。台風続きと地震。日本列島は異常ともいえる。幸いというか、御嶽と浅間山の噴火レベルが下げられ、関係者は歓迎しているが、本当に大丈夫だろうか。

これだけ異常な天気で、今年の紅葉は予測がつかない。少し早いだろうというのが、多くの人の共通の声である。雪も早そうだ。

1日目●13:00 宿泊予定のホテルへ迎え → ●リフト乗車 → ●14:00 ウェルカムパーティー → ●14:30 ~17:30 アクティビティ体験タイム(スノーラフティング+展望スノーシューツアー、ファットバイク、かまくらで休憩&瞑想、おやき作り体験、温泉…) → ●17:30~19:30 ディナー(テント) → ●19:30 雪上車ナイトクルーズ → ●20:50 ホテル焚火バー → ●22:00 ホテルへお送り

2日目●04:30 ホテルへ迎え → ●リフト乗車 → ●05:00~06:00 熱気球 → ●ご来光 → ●06:15 朝食 → ●07:30 リフト乗車で下山 → ●07:45 宿泊ホテルへお送り

本プログラムはお客様に五感で自然を感じていただくため、宿泊以外は屋外での実施となります。メイン会場は白馬八方尾根スキー場の標高1,200mの場所にあり、気象条件によっては-10℃にも下がります。その他風や雪雨など一部のお客様には不快な状況が発生することがあります。実施にあたりましては細心の配慮と注意を払いますが、それらも自然の一部としてご理解頂き、予めご承知の上、お申込ください。